

## 第91回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年2月3日（木）15：00～17：00
2. 場所：KKRホテル東京 11F 丹頂
3. 参加者：神野委員長、臼杵委員長代理、小幡委員、白須委員、菅原委員、  
玉木委員

### 4. 議事要旨

#### (1) 令和3年度第3四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金、経過的長期給付積立金の令和3年度第3四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・リスク管理について、足元ではボラティリティが高まっていると思うので、注意深くモニタリングしてほしい。

#### (2) リバランス実務の考え方について

事務局から、リバランス実務の考え方について説明があり、委員からの意見等を踏まえつつ、事務局案の方向で進めることが確認された。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・一定のリスクの下で最大のリターンを目指すことを目的として行ってほしい。
- ・シミュレーションの前提が崩れたら結果も変わってくることから、前提については改めて確認しておいてほしい。
- ・キャッシュアウトに対応するために、例えば短期資産を4資産とは別に持っておくという考え方もあるのではないかと。

#### (3) アクティブ比率の確認

#### (4) 外国債券ポートフォリオのアクティブ水準の調整

事務局から、アクティブ比率の確認と外国債券ポートフォリオのアクティブ

水準の調整に関して説明があり、意見等を踏まえつつ、事務局案の方向で進めることが確認された。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・許容するトラッキングエラーの水準等を決めて、アクティブリスクを管理してみてもどうか。
- ・無理やりアクティブ比率を上げるのではなく、検討した結果、これだったら将来託していいだろうというファンドが見つかれば投資をするという基本スタンスでやっていくのがいいのではないか。
- ・コストの部分では頑張って交渉していただいたので、いい傾向かと思う。いずれにしてもアルファの源泉をしっかりと稼ぐ能力があるかどうかの目利きが大事だと思う。
- ・アクティブ運用の定義について、政策ベンチマークとは異なるベンチマークに追随する運用と一般的なアクティブ運用とは性格が異なるので区分した方がよい。
- ・議論がしやすいように、年に1回程度、アクティブの運用状況等について説明していただきたい。

以 上